

中小ものづくり企業が自ら実践できる サイバーセキュリティ対策セミナー

サプライチェーンに深刻な影響をおよぼす重大セキュリティインシデントが相変わらず発生しています。これは日本だけでなく世界的な傾向であり、各国において対策が進められています。日本においては、新たに2026年度中の運用開始を目指して「サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策評価制度」により中小を含めた企業の対策状況を可視化するしきみが政府により検討が進められており、対策状況が今後の企業間取引の参考情報となると考えられます。セミナーでは最近の事例を交えてサイバーセキュリティの現状をお伝えするとともに、自社がサプライチェーンの弱点にならないために、日本ネットワークセキュリティ協会（JNSA）が公開したハンドブックのエッセンスを基盤とした「今すぐできること」をわかりやすく解説します。

- 日程： 2026年2月27日(金)
- 方法： リアル開催＆オンライン
- 会場： 兵庫県立大学 新長田ブランチ 5階 セミナー室
(神戸市長田区腕塚町5丁目2-1 : JR・地下鉄新長田駅徒歩7分)
- 主催： 神戸市、(公財)新産業創造研究機構
- 対象： 神戸市ならびに兵庫県下の中小ものづくり企業
優先順位 神戸市中小企業>兵庫県中小企業>兵庫県大企業>その他
オンラインはこの限りではない
経営者、総務部門などのB C P（事業継続計画）担当の方、サイバーセキュリティ担当の方、I C T担当の方、サプライチェーン関連部門の方、サイバーセキュリティに関心のある方

- 参加費： 無料
- 定員： リアル 25名程度（オンライン 制限なし）
※会場聴講の皆様にはJNSAのハンドブック3部作を配布します

- 参加申込： NIROホームページよりお申込みください
<https://www.niro.or.jp/information/20260106/54550/>

■プログラム

2026年2月27日（金） 14:00～16:30

14:00-14:10 イントロダクション (公財)新産業創造研究機構

14:10-16:10 「3社に1社が被害に遭う時代を乗り切るために」

講演：特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会(JNSA)
岡本 登 氏（所属：富士通株式会社）

（休憩10分）

16:20-16:30 神戸市・(公財)新産業創造研究機構からのご連絡

【セミナーで紹介するハンドブック】

1. 今すぐ実践できる工場セキュリティハンドブックリスクアセスメント編

今すぐ実現できる工場セキュリティパンフレット
リスクアセスメント編 第1.1版

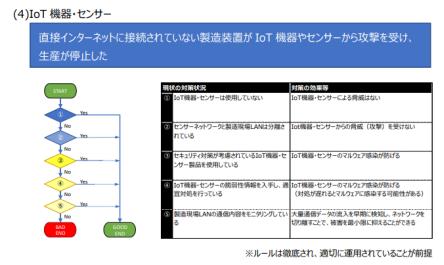
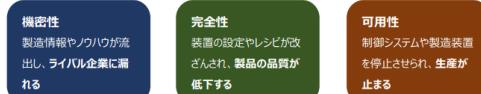
2022年6月

1. 1 ハンドブック・リスクアセスメント編活用の目的

製造装置の誤動作や停止、あるいは品質低下につながるような情報セキュリティリスクを理解し、自社

の製造現場における現状を正しく把握するためには、脅威の存在と客観的なりスク評価が必要です。

では、製造現場と情報セキュリティにはどのような繋がりがあるのでしょうか。例えば、一般的なオフィス環境では、情報は適切に管理するため、「機密性」、「完全性」、「可用性」の3つの観点が用いられて情報セキュリティを考えます。これに倣って、例えば、製造現場がコンピュータウイルス（脅威）に感染した場合、どのようなリスクがあるのか、3つの観点との関係性を考えてみます。



（補足）
（参考）
（参考）

- 製造現場の「攻守」は、マルチPLC感染症、IoT機器インフレ（あるいは益田伊丹カラスや赤い紙センサーなど）が遡る操作によるものになります。
 - IoT機器・センサーにはセキュリティ対策が不十分なものが多く存在し、不正アクセスやマルウェア感染の脅威を受けています。
 - ③の「ネットワーク分離化」は、製造現場 LAN とは物理的に接続せずに、IoT 機器・センサー専用の LAN を作る方法や、物理的にはつながっていても、製造現場 LAN とは直接

2. 今すぐ実践できる工場セキュリティハンドブックリスク対策編

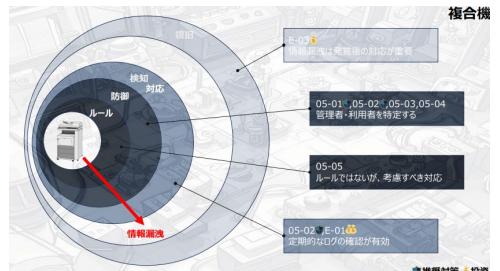
今すぐ実践できる工場セキヨリ!ハンドブック
リスク対策編 第1.0版

2024年3月

情報セキュリティ対策の考え方（一般的なフレームワーク）



※本ハンドブックでは、検知と対応を一体として取り扱います。



3.工場セキュリティサイバー対応IT-BCP策定ハンドブック

カクマイズ条件定義			
No	西暦	西暦	西暦
-	・どの分野の製造業ですか？	田舎例1 電子機器・デバイス・電子回路製造業	田舎例2 瓦製品製造業
-	・製造している品目が用いられるのは社員に 外へ大量に販売をなさずですか？	大きな影響あり 若干影響あり	
-	・サブコンサースとして許可を得て工場の転倒 止運営規則に従っていますか？	3日 1週間	2週間
-	・自社経営の面で許可できる工場の転倒停止期間 はどれくらいですか？	1週間	1週間
-	・荷物リスクが発生される荷物の入口はどこですか	インターネット	保守用カットワーク
-	・どの辺りの荷物をセキュリティ対策を行なっています か？	ファイアウォール、アンチウイルス、ネット ワーク監視、ログ収集	USBメモリ使用禁止
-	・システムのバグ(バッファオーバー)はありますか？	定期的に発見	なし
-	・サイバーセキュリティ対策で、自社内の署員で初期 設定を行なっていますか？	可能です	できません
-	・サイバーセキュリティ対策で、自社内外の署員では 何で初期設定を行なっていますか？	ペーパーに協力してもらいます	できません
-	・サイバーセキュリティ対策で、自社内外に導入する可能 性について、何で協力してもらいます	ペーパーに協力してもらいます	できません

中小製造業向けサイバー対応 IT-BCP サンプル Ver. 1.0

1. はじめに

当社の製造現場において、サイバー攻撃は深刻な事業リスクとなり、工場の停止は社外へも大きな影響を及ぼす。本サイバー対応 IT-BCP は、当社が既に実施しているリスクアセスメントに基づき、サイバー攻撃発生時の対応を定めることで、速やかに情報セキュリティ脅威に対処し、結果として事業継続性を保めることを目的とする。

2. 基本方針

サイバー攻撃による事業中断を最小限に抑え、迅速なシステム復旧を実現するため、以下の基本方針に基づき対策を実施する。

- 統治：権力と責任を明確にし、緊急対応体制を図る作成の上、組織的に対応する。
 - 特定：潜在するリスクとその影響範囲を特定する。
 - 防御：脅威の入り口に対して必要な防衛対策を行う。
 - 検知：異常な活動を早期に検知し、被害の拡大を防ぐ。
 - 対応：インシデント発生時には、サプライチェーンへの影響も考慮し、手順に従い迅速かつ適切

会場：兵庫県立大学 新長田ブランチ
〒653-0036
神戸市長田区腕塚町5丁目2-1
(新長田キャンパスプラザ 5階)



公共交通機關

- JR・市営地下鉄（西神山手線）新長田駅から南へ徒歩7分
 - JR大阪駅からJR新長田駅まで約34分
(大阪方面からは、新快速にて神戸駅で普通に乗換えて2駅目)
 - JR姫路駅からJR新長田駅まで約51分
(姫路方面からは、新快速にて明石駅で普通に乗換えて8駅目)

新長田キャンパスプラザには駐車場はございません。
車でお越しの方は、近隣の駐車場をご利用ください。